

07-23-2001



TO THE ASSISTANT COMMISSIONER
SIR: PLEASE RECORD THE ATTACHED

1. NAME OF CONVEYING PARTY(IES) **101787334**

1. Research Development Corporation of Japan

2.
3.
5. **7/7-01**
7.

2.
4.
6.
8.

ADDITIONAL NAME(S) OF CONVEYING PARTY(IES) ATTACHED? YES NO

2. PARTY(IES) (ASSIGNEE(S)) RECEIVING INTEREST:

NAME: Japan Science and Technology Corporation

ADDRESS: 4-1-8, Honmachi, Kawaguchi-shi, Saitama-ken, Japan

ADDITIONAL NAME(S) & ADDRESS(ES) ATTACHED? YES NO

3. NATURE OF CONVEYANCE (DOCUMENT):

(Submit herewith only one document for recordation—multiple copies of same Assignment signed by different inventors is one document)

ASSIGNMENT OF WHOLE PART INTEREST
 ORIGINAL FACSIMILE/PHOTOCOPY
 CHANGE OF NAME VERIFIED TRANSLATION
 SECURITY MERGER OTHER:

EXEC. DATE: October 1, 1996

EXECUTION DATE(S) ON THE DECLARATION IF FILED HEREWITH: (NOTE: IF DATES ON DECLARATION AND ASSIGNMENT DIFFER SEE ATTY!)

4.5 APPL. NO.(S) OR PAT NO.(S). OTHERS ON ADDITIONAL SHEET(S) attached? YES NO

A. PAT. APP. NO.(S) series code/serial no	M#	1 st INVENTOR if not in item 1	B. PATENT NO(S)	M#	1 st INVENTOR if not in item 1
			5,278,433	258594	MANABE et al.

5. Name & Address of Party to Whom Correspondence
Concerning Document Should be Mailed:

Pillsbury Winthrop LLP
Intellectual Property Group
1600 Tysons Boulevard

McLean, VA 22102

6. NUMBER INVOLVED:
APPLNS 0 + PATS 1 = TOTAL **1**

7. AMOUNT OF FEE ENCLOSED: (Code 581)
ABOVE TOTAL x \$40 = \$40

5.5ATTY DKT:	8. IF ABOVE FEE IS MISSING OR INADEQUATE CHARGE INSUFFICIENCY TO DEPOSIT ACCOUNT NUMBER: 03-3975 UNDER ORDER NO 31317 258594		
P 258594	F99-175-USdiv	dup. sheet not required	CLIENT NO. 258594
MATTER NO.	CLIENT REF.		MATTER NO.

9.

Signature

Attorney: **Gregory P. Brummett**

Reg. No. **41646**

Atty/Sec: **GPB/csg** TEL: (703) 905-2024

10. Total number of pages including this
cover sheet, attachments and document
(do not file dup. Cover sheet)

48

Date: **July 17, 2001**

FAX: (703) 905-2500

FILE WITH PTO RETURN RECEIPT (PAT-103A)

07/20/2001 DBYRME 00000158 5278433

01 FC:581

40.00 DP



March 31, 1996 Sunday OFFICIAL GAZETTE

OFFICIAL GAZETTE

(Extra Issue)
Published by the Printing Bureau,
Ministry of Finance

CONTENTS

.....
(omitted)
.....

The Japan Science and Technology Corporation Law (27)

.....
(omitted)
.....

.....
(omitted)
.....

LAW No. 27

THE JAPAN SCIENCE AND TECHNOLOGY CORPORATION LAW

CONTENTS

- Chapter I General Provisions (Articles 1-10)
- Chapter II Officers (Articles 11-23)
- Chapter III New Technology Council
(Articles 24-29)
- Chapter IV Business (Articles 30-34)
- Chapter V Financial Affairs and Accounting
(Articles 35-45)
- Chapter VI Supervision (Articles 46 and 47)
- Chapter VII Miscellaneous Provisions
(Articles 48-51)
- Chapter VIII Penal Provisions (Articles 52-55)
- Supplementary Provisions

Chapter I General Provisions

Article 1 (omitted)

.....

Article 3 (Corporate Entity)

The Japan Science and Technology Corporation
(hereinafter referred to as the "CORPORATION")
shall be a corporation.

Article 4 (omitted)

.....

Supplementary Provisions

Article 1 (omitted)

.....

**Article 8 (Dissolution of Research Development
Corporation of Japan, etc.)**

The Research Development Corporation of Japan
shall be dissolved at the time when the CORPORATION
comes into existence, and simultaneously therewith,
the CORPORATION shall succeed to all rights and
obligations of the Research Development Corporation
of Japan.

.....

(omitted)



5278433

7-26-9

DECLARATION

I, Katsumi Sugiura, a Japanese citizen of 3-166-1, B-102, Mukaikogane, Nagareyama-shi, Chiba-ken, Japan, declare that I am familiar with the Japanese and English languages, and to the best of my knowledge and belief, the attached is a true and faithful English translation made by me of the substantial portions of the accompanying certified copy of the register of Japan Science and Technology Corporation (*Kagaku Gijutsu Shinko Jigyodan*).

Singed this 19th day of December, 1997

Katsumi SUGIURA

DECLARATION

I, Katsumi Sugiura, a Japanese citizen of 3-166-1, B-102, Mukaiikogane, Nagareyama-shi, Chiba-ken, Japan, declare that I am familiar with the Japanese and English languages, and to the best of my knowledge and belief, the attached is a true and faithful English translation made by me of the substantial portions of the accompanying certified copy of the closed register of Research Development Corporation of Japan (*Shin-gijutsu Kaihatsu Jigyodan*).

Singed this 19th day of December, 1997



Katsumi SUGIURA

DECLARATION

I, Katsumi SUGIURA, a citizen of Japan,
residing at 3-166-1, B-102, Mukaiogane,
Nagareyama-shi, Chiba-ken, Japan, do solemnly and
sincerely declare:

that I am well acquainted with the Japanese
language and English language.

that the accompanying Japanese language
document is a true photocopy made by me of portions
of the Official Gazette issued on March 31, 1996,
and

that the attached English version is a
translation made by me of the substantial portions
of said copy of the Official Gazette relevant to
the fact that the Japan Science and Technology
Corporation (*Kagakugijutsu-Shinko Jigyodan*)
established on October 1, 1996 under the provisions
of LAW No. 27 has succeeded to all rights and
obligations of the Research Development Corporation
of Japan (*Shin-gijutsu Jigyodan*) under Article 8(1)
of the Supplementary Provisions of said LAW.

Dated this 2nd day of February, 1998



Katsumi SUGIURA



[法 律]

- 関税定率法等の一部を改正する法律
(一九)
- 裁判所職員定員法の一部を改正する法律
(二〇)
- 住宅金融公庫法等の一部を改正する法律
(二一)
- 農林漁業金融公庫法の一部を改正する法律
(二二)
- 石炭鉱害賠償等臨時措置法の一部を改正する法律
(二三)
- 中小企業の創造的事業活動の促進に関する臨時措置法の一部を改正する法律
(二四)
- 住宅金融公庫法施行令等の一部を改正する政令
(二五)
- 交通安全管理等整備事業に関する緊急措置法の一部を改正する法律
(二六)
- 踏切道改良促進法の一部を改正する法律
(二七)
- 科学技術振興事業団法
(二八)
- 在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律の一部を改正する法律
(一〇)
- 恩給法等の一部を改正する法律
(一一)
- 地方税法等の一部を改正する法律
(一二)
- 地方交付税法等の一部を改正する法律
(一三)
- 高圧ガス取締法及び液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律の一部を改正する法律
(一四)
- 戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律
(一五)
- 大都市地域における優良宅地開発の促進に関する緊急措置法の一部を改正する法律
(一六)
- 租税特別措置法の一部を改正する法律
(一七)
- 平成八年分所得税の特別減税のための臨時措置法(一八)

[政 令]

- 國立学校設置法の一部を改正する法律
(一九)
- 所得税法施行令の一部を改正する政令
(八四)
- 法人税法施行令の一部を改正する政令
(八五)
- 消費税法施行令の一部を改正する政令
(八六)
- 住宅金融公庫法施行令等の一部を改正する政令
(八七)
- 交通安全管理等整備事業に関する緊急措置法施行令及び道路法施行令の一部を改正する政令
(八八)
- 交通安全管理等整備事業に関する緊急措置法施行令及び道路法施行令の一部を改正する政令
(八九)
- 平成八年分所得税の特別減税のための臨時措置法施行令
(九〇)
- 沖縄の復帰に伴う国税關保法令の適用の特別措置等に関する政令の一部を改正する政令
(九一)
- 沖縄振興開発特別措置法施行令の一部を改正する政令
(九二)
- 関税割当制度に関する政令の一部を改正する政令
(九三)
- 関税定率法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備等に関する政令
(九四)
- 在外公館に勤務する外務公務員の在勤基本手当の額及び住居手当の限度額を定める政令の一部を改正する政令
(九五)
- 地方税法施行令の一部を改正する政令
(一〇)
- 平成八年度における被用者年金制度の費用負担の調整に関する特別措置法施行令第一条第三十二号に規定する物価スライド率の特例に関する政令
(九六)
- 関税暫定措置法第八条の四第一項に規定する限度額等の平成八年度における額又は数量を定める件
(大藏一〇〇)
- 輸入数量を基準とする特別緊急関税に係る平成八年度における輸入基準数量を定める件
(同一〇一)
- 生鮮等牛肉及び冷凍牛肉に係る関税の緊急措置の平成八年度第一四半期、第二四半期及び第三四半期における発動基準となる数量を定める件
(同一〇二)

[告 示]

- 國立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部八)
- 文部省定員規則の一部を改正する省令(同九)
- らい予防法の廃止に関する法律第六条に規定する援護に関する省令
(厚生二二)
- 踏切道の保安設備の整備に関する省令の一部を改正する省令(運輸二七)
- 踏切道の立体交差化及び構造の改良に関する省令の一部を改正する省令
(運輸・建設三)
- 新産業都市建設及び工業整備特別地域整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行規則及び首都圏、近畿圏及び中部圏の近郊整備地帯等の整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行規則の一部を改正する省令(自治一五)
- 國立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部八)
- 文部省定員規則の一部を改正する省令(同九)
- らい予防法の廃止に関する法律第六条に規定する援護に関する省令
(厚生二二)
- 踏切道の整備に関する法律(運輸二七)
- 新産業都市建設及び工業整備特別地域整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行規則及び首都圏、近畿圏及び中部圏の近郊整備地帯等の整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行規則の一部を改正する省令(自治一五)
- 國立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部八)
- 文部省定員規則の一部を改正する省令(同九)
- らい予防法の廃止に関する法律第六条に規定する援護に関する省令
(厚生二二)
- 踏切道の整備に関する法律(運輸二七)
- 新産業都市建設及び工業整備特別地域整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行規則及び首都圏、近畿圏及び中部圏の近郊整備地帯等の整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行規則の一部を改正する省令(自治一五)
- 國立学校設置法施行規則及び関税暫定措置法施行規則の一部を改正する省令
(大藏二四)
- 住宅金融公庫法施行規則等の一部を改正する省令(大藏・建設二)
- 新産業都市建設及び工業整備特別地域整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行令及び首都圏、近畿圏及び中部圏の近郊整備地帯等の整備のための国の財政上の特別措置に関する法律施行令の一部を改正する政令
(大藏二四)

(以下次のページへ続く)

本日公布された法令の「あらまし」は、
次のページに掲載されています。

- 4 政府は、事業団に出资するときは、土地、建物その他の土地の定着物又は物品（以下「土地等」という。）を出資の目的とすることができる。
- 5 前項の規定により出資の目的とする土地等の価額は、出資の日現在における時価を基準として評価委員が評価した価額とする。
- 6 前項の評価委員その他評価に関し必要な事項は、政令で定める。
- 7 政府及び政府以外の者は、第二項の認可があつた場合において、事業団に出资しようとするときは、第三十条第一項第一号に掲げる業務（これに附帯する業務を含む。）のうち政令で定めるもの（以下「文献情報提供業務」という。）又はその他の業務のそれぞれに必要な資金に充るべき金額（土地等を出資の目的とする場合にあっては、土地等）を示すものとする。
- （出資証券）
- 3 前項に規定するもののほか、出資証券に関する事項は、政令で定める。
- 2 事業団は、出資に対し、出資証券を発行する。
- （持分の払戻し等の禁止）
- 3 事業団は、出資者に対し、その持分を払い戻すことができない。
- 2 事業団は、出資者の持分を取得し、又は質権の目的としてこれを受けることができない。
- （登記）
- 3 第八条 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- 2 前項の規定により登記しなければならない事項は、登記の後でなければ、これをもつて第三者に対抗することができない。
- （名称の使用制限）
- 3 第九条 事業団でない者は、科学技術振興事業団の名称を用いてはならない。
- （民法の準用）
- 4 第十一条 事業団に、役員として、理事長一人、専務理事二人、理事七人以内及び監事一人を置く。

- （役員の職務及び権限）
- 第十二条 理事長は、事業団を代表し、その業務を総理する。
- 2 専務理事は、理事長の定めるところにより、事業団を代表し、理事長を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行つ。
- 3 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び専務理事を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長及び専務理事に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び専務理事が欠員のときはその職務を行つ。
- 4 監事は、事業団の業務を監査する。
- 5 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるとときは、理事長又は内閣総理大臣（第五十条の規定により委任された場合には、科学技術庁長官）に意見を提出することができる。
- （役員の兼職禁止）
- 6 前項の規定により出資の目的とする場合にあっては、土地等）を示すものとする。
- （出資証券）
- 3 前項に規定するもののほか、出資証券に関する事項は、政令で定める。
- 2 事業団は、出資に対し、出資証券を発行する。
- （持分の払戻し等の禁止）
- 3 事業団は、出資者に対し、その持分を払い戻すことができない。
- 2 事業団は、出資者の持分を取得し、又は質権の目的としてこれを受けることができない。
- （登記）
- 3 第八条 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- 2 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- （名称の使用制限）
- 3 第九条 事業団でない者は、科学技術振興事業団の名称を用いてはならない。
- （民法の準用）
- 4 第十一条 事業団に、役員として、理事長一人、専務理事二人、理事七人以内及び監事一人を置く。

- （役員の職務及び権限）
- 第十二条 理事長は、事業団を代表し、その業務を総理する。
- 2 専務理事は、理事長の定めるところにより、事業団を代表し、理事長を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行つ。
- 3 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び専務理事を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長及び専務理事に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び専務理事が欠員のときはその職務を行つ。
- 4 監事は、事業団の業務を監査する。
- 5 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるとときは、理事長又は内閣総理大臣（第五十条の規定により委任された場合には、科学技術庁長官）に意見を提出することができる。
- （役員の兼職禁止）
- 6 前項の規定により出資の目的とする場合にあっては、土地等）を示すものとする。
- （出資証券）
- 3 前項に規定するもののほか、出資証券に関する事項は、政令で定める。
- 2 事業団は、出資に対し、出資証券を発行する。
- （持分の払戻し等の禁止）
- 3 事業団は、出資者に対し、その持分を払い戻すことができない。
- 2 事業団は、出資者の持分を取得し、又は質権の目的としてこれを受けることができない。
- （登記）
- 3 第八条 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- 2 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- （名称の使用制限）
- 3 第九条 事業団でない者は、科学技術振興事業団の名称を用いてはならない。
- （民法の準用）
- 4 第十一条 事業団に、役員として、理事長一人、専務理事二人、理事七人以内及び監事一人を置く。

- （役員の職務及び権限）
- 第十二条 理事長は、事業団を代表し、その業務を総理する。
- 2 専務理事は、理事長の定めるところにより、事業団を代表し、理事長を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行つ。
- 3 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び専務理事を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長及び専務理事に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び専務理事が欠員のときはその職務を行つ。
- 4 監事は、事業団の業務を監査する。
- 5 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるとときは、理事長又は内閣総理大臣（第五十条の規定により委任された場合には、科学技術庁長官）に意見を提出することができる。
- （役員の兼職禁止）
- 6 前項の規定により出資の目的とする場合にあっては、土地等）を示すものとする。
- （出資証券）
- 3 前項に規定するもののほか、出資証券に関する事項は、政令で定める。
- 2 事業団は、出資に対し、出資証券を発行する。
- （持分の払戻し等の禁止）
- 3 事業団は、出資者に対し、その持分を払い戻すことができない。
- 2 事業団は、出資者の持分を取得し、又は質権の目的としてこれを受けることができない。
- （登記）
- 3 第八条 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- 2 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- （名称の使用制限）
- 3 第九条 事業団でない者は、科学技術振興事業団の名称を用いてはならない。
- （民法の準用）
- 4 第十一条 事業団に、役員として、理事長一人、専務理事二人、理事七人以内及び監事一人を置く。

- （役員の職務及び権限）
- 第十二条 理事長は、事業団を代表し、その業務を総理する。
- 2 専務理事は、理事長の定めるところにより、事業団を代表し、理事長を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行つ。
- 3 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び専務理事を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長及び専務理事に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び専務理事が欠員のときはその職務を行つ。
- 4 監事は、事業団の業務を監査する。
- 5 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるとときは、理事長又は内閣総理大臣（第五十条の規定により委任された場合には、科学技術庁長官）に意見を提出することができる。
- （役員の兼職禁止）
- 6 前項の規定により出資の目的とする場合にあっては、土地等）を示すものとする。
- （出資証券）
- 3 前項に規定するもののほか、出資証券に関する事項は、政令で定める。
- 2 事業団は、出資に対し、出資証券を発行する。
- （持分の払戻し等の禁止）
- 3 事業団は、出資者に対し、その持分を払い戻すことができない。
- 2 事業団は、出資者の持分を取得し、又は質権の目的としてこれを受けることができない。
- （登記）
- 3 第八条 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- 2 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- （名称の使用制限）
- 3 第九条 事業団でない者は、科学技術振興事業団の名称を用いてはならない。
- （民法の準用）
- 4 第十一条 事業団に、役員として、理事長一人、専務理事二人、理事七人以内及び監事一人を置く。

- （役員の職務及び権限）
- 第十二条 理事長は、事業団を代表し、その業務を総理する。
- 2 専務理事は、理事長の定めるところにより、事業団を代表し、理事長を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行つ。
- 3 理事は、理事長の定めるところにより、理事長及び専務理事を補佐して事業団の業務を掌理し、理事長及び専務理事に事故があるときはその職務を代理し、理事長及び専務理事が欠員のときはその職務を行つ。
- 4 監事は、事業団の業務を監査する。
- 5 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるとときは、理事長又は内閣総理大臣（第五十条の規定により委任された場合には、科学技術庁長官）に意見を提出することができる。
- （役員の兼職禁止）
- 6 前項の規定により出資の目的とする場合にあっては、土地等）を示すものとする。
- （出資証券）
- 3 前項に規定するもののほか、出資証券に関する事項は、政令で定める。
- 2 事業団は、出資に対し、出資証券を発行する。
- （持分の払戻し等の禁止）
- 3 事業団は、出資者に対し、その持分を払い戻すことができない。
- 2 事業団は、出資者の持分を取得し、又は質権の目的としてこれを受けることができない。
- （登記）
- 3 第八条 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- 2 事業団は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。
- （名称の使用制限）
- 3 第九条 事業団でない者は、科学技術振興事業団の名称を用いてはならない。
- （民法の準用）
- 4 第十一条 事業団に、役員として、理事長一人、専務理事二人、理事七人以内及び監事一人を置く。

二 研究交流に関する事務（科学技術の研究者に係るものに限る。）を行うこと。

イ 外国的研究者の受入れに係る支援、国内及び国外の試験研究機関への研究者の派遣、研究集会の開催、外国の研究者のための宿舎の設置及び運営その他の研究者の交流を促進するための業務

ロ 科学技術に関する試験研究を行う者が科学技術に関する試験研究を共同して行うこと（當利を目的とする団体が他の當利を目的とする団体との間で行う場合を除く。）についてあつせんする業務

三 科学技術に関する試験研究を行う者に対し、試験研究を効果的かつ効率的に行うために必要な人的及び技術的援助を行い、並びに資材及び設備を提供する業務（科学技術庁の所掌事務に係るものに限る。）を行うこと。

四 科学技術に関して知識を普及し、並びに国民の关心及び理解を増進すること。

五 新技術の創製に資することとなる初期的段階の技術に関する見を探索することを内容とする基礎的研究を行い、その成果を普及すること。

六 企業化が著しく困難な新技術について企業等に委託して開発を実施し、その成果を普及するほか、新技術の開発について企業等にあつせんすること。

七 前各号に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

八 前各号に掲げるもののほか、第一条の目的を達成するために必要な業務を行うこと。

2 事業団は、前項第八号に掲げる業務を行おうとするときは、内閣総理大臣の認可を受けなければならない。

（業務の委託）

第三十二条 事業団は、業務の開始の際、業務方法書を作成し、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

2 前項の業務方法書に記載すべき事項は、総理府令で定める。

（開発の委託等に関する認可）

（書類の送付）

（区分経理）

（財産の処分等の制限）

二 銀行その他内閣総理大臣の指定する金融機関への預金又は郵便貯金

第三十三条 事業団は、第三十六条又は前条第一項の規定による認可又は承認を受けたときは、開発を実施しようとする新技術及び開発を委託しようとする企業等の選定並びに当該開発の規模の決定について、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

1 事業団は、新技術の開発の成果を企業に実施させようとするときは、当該成果を実施させる企業の選定について、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

2 事業団は、新技術の開発の成果を企業に実施させようとするときは、当該成果を実施させる企業の選定について、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

（関係機関との協力）

第三十四条 事業団は、第三十条第一項第一号に掲げる業務を行うに際しては、できる限り、国立国会図書館その他の関係機関の文献及び資料の利用を図るほか、関係機関と緊密に協力しなければならない。

（第五章 財務及び会計）

（事業年度）

第三十五条 事業団の事業年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。
（事業計画等の認可）

第三十六条 事業団は、毎事業年度、事業計画、予算及び資金計画を作成し、当該事業年度の開始前に、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

（第六章 監督）

2 事業団は、文献情報提供勘定において、前項に規定する残余の額から同項の規定により積立金として整理した額を控除してなお残余があるときは、内閣総理大臣の認可を受けて、その残余の額を出資者の出資に対しそれの出資額に応じて分配することができる。

3 事業団は、毎事業年度、損益計算において損失を生じたときは、第一項の規定による積立金を減額して整理し、なお不足があるときは、その不足額は、繰越欠損金として整理しなければならない。

（監督）

第四十六条 事業団は、内閣総理大臣が監督するため必要があると認めるときは、事業団に対してその業務に關し報告をさせ、又はその職員に、事業団の事務所その他の事業所に立ち入り、業務の状況若しくは帳簿、書類その他の必要な物件を検査させることができる。

2 前項の規定により職員が立入検査をする場合には、その身分を示す證明書を携帯し、関係人にこれを提示しなければならない。

3 第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

（第七章 稽則）

第三十七条 事業団は、毎事業年度、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（以下「財務諸表」という。）を作成し、当該事業年度の終了後三月以内に内閣総理大臣に提出し、その承認を受けなければならない。

2 事業団は、前項の規定により財務諸表を内閣総理大臣に提出するときは、これに当該事業年度の事業報告書及び予算の区分に従い作成した決算報告書を添え、並びに財務諸表及び決算報告書に関する監事の意見を付けなければならぬ。

3 事業団は、第一項の規定による内閣総理大臣の認可を受けたときは、運営なく、財務諸表を官報に公告し、かつ、財務諸表及び附属明細書を各事務所に備えて置かなければならない。

（余金の運用）

第三十八条 事業団は、第三十六条又は前条第一項の規定による認可又は承認を受けたときは、当該開発の規模の決定について、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

2 前項の事業報告書に記載すべき事項は、総理府令で定める。

（余金の運用）

第三十九条 事業団は、文獻情報提供勘定においては、その他の経理と区分し、特別の勘定（以下「文獻情報提供勘定」という。）を設けて整理しなければならない。

（利益及び損失の処理）

第四十条 事業団は、毎事業年度、損益計算において利益を生じたときは、前事業年度から繰り越した損失をうち、なお残余があるときは、その残余の額（文獻情報提供勘定においては、当該勘定に係る残余の額に政令で定める率を乗じて得た額以上の額）は積立金として整理しなければならない。

2 事業団は、文献情報提供勘定において、前項に規定する残余の額から同項の規定により積立金として整理した額を控除してなお残余があるときは、内閣総理大臣の認可を受けて、その残余の額を出資者の出資に対しそれの出資額に応じて分配することができる。

3 事業団は、毎事業年度、損益計算において損失を生じたときは、第一項の規定による積立金を減額して整理し、なお不足があるときは、その不足額は、繰越欠損金として整理しなければならない。

（報告及び検査）

第四十一条 事業団は、内閣総理大臣の認可を受けて、短期借入金をすることができる。

2 前項の規定による短期借入金は、当該事業年度内に償還しなければならない。ただし、資金の不足のため償還することができないときは、その償還することができる金額に限り、内閣総理大臣の認可を受けて、これを借り換えることができる。

3 前項ただし書の規定により借り換えた短期借入金は、一年以内に償還しなければならない。

（第八章 附則）

第四十二条 事業団は、次の方によること。

一 国債その他内閣総理大臣の指定する有価証券の取扱い。

（関係行政機関の長の協力）

第四十三条 事業団は、総理府令で定める重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、内閣総理大臣の認可を受けなければならぬ。

（財産の処分等の制限）

第四十四条 事業団は、その役員及び職員に対する給与及び退職手当の支給の基準を定めようとするときは、内閣総理大臣の承認を受けなければならぬ。これを変更しようとするときも、同様とする。

（給与及び退職手当の基準）

第四十五条 この法律及びこれに基づく命令に規定するもののほか、事業団の財務及び会計に関する事項は、総理府令で定める。

（第九章 附則）

第四十六条 事業団は、内閣総理大臣が監督するため必要があると認めるときは、事業団に対してその業務に關し報告をさせ、又はその職員に、事業団の事務所その他の事業所に立ち入り、業務の状況若しくは帳簿、書類その他の必要な物件を検査させることができる。

2 前項の規定により職員が立入検査をする場合には、その身分を示す證明書を携帯し、関係人にこれを提示しなければならない。

3 第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

PATENT
REEL: 011987 FRAME: 0574

(解散)

第四十九条 事業団は、解散した場合において、その債務を弁済してなお残余財産があるときは、当該残余財産の額のうち、文献情報提供勘定に属する額に相当する額を文献情報提供勘定に係る各出資者に対し、文献情報提供勘定の一般勘定(以下この条において「一般勘定」といふ)に属する額に相当する額を一般勘定に係る各出資者に対し、それぞれ、その出資額に応じて分配するものとする。

2 前項の規定により一般勘定に係る各出資者に分配することができる額は、その出資額を限度とする。

3 前二項に規定するもののほか、事業団の解散については、別に法律で定める。

(科学技術庁長官への委任)

第五十条 この法律に規定する内閣総理大臣の権限は、科学技術庁長官に委任することができる。ただし、第十三条、第十六条第一項、同条第二項及び第三項(第二十九条において準用する場合を含む)、第二十条第二項並びに第二十七条に規定する権限については、この限りでない。

(関係大臣との協議)

第五十一条 内閣総理大臣(前条の規定により委任された場合には、科学技術庁長官、以下同じ。)は、次の場合には、あらかじめ、大蔵大臣に協議しなければならない。

一 第五条第二項、第三十条第二項、第三十二条第一項、第三十六条第四十条第二項、第四十一条第一項及び第二項ただし書並びに第四十三条の規定による認可をしようとするとき。

二 第三十七条第一項及び第四十四条の規定による承認をしようとするとき。

三 第四十二条第一号及び第二号の規定による指定をしようとするとき。

四 第三十二条第二項、第四十三条及び第四十五条の規定により總理府令を定めようとするとき。

五 第三十二条第一項、第三十三条の認可をしようとするときは、あらかじめ、当該新技術に係る事業を所管する大臣に協議しなければならない。

第八章 計則

第五十二条 第二十二条(第二十九条において準用する場合を含む)の規定に違反した者は、一年以下の懲役又は五十万円以下の罰金に処する。

第五十三条 第四十七条第一項の規定による報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避した場合には、その違反行為をした事業団の役員又は職員は、二十万円以下の罰金に処する。

第五十四条 次の各号の一に該当する場合には、その違反行為をした事業団の役員は、二十万円以下の過料に処する。

1 この法律により内閣総理大臣の認可又は承認を受けなければならない場合において、その認可又は承認を受けなかつたとき。

2 第八条第一項の規定に違反して登記することを怠つたとき。

3 センターの平成八年四月一日に始まる事業年度は、センターの解散の日の前日に終わるものとする。

4 第四十六条第二項の規定による内閣総理大臣の命令に違反したとき。

5 第三十三条第九条の規定に違反した者は、十万円以下の過料に処する。

第六章 日本科学技術情報センター(以下「センター」といふ)は、事業団の成立の時において解散するものとし、その一切の権利及び義務は、その時において事業団が承継する。

第七条 事業団は、設立の登記することによつて成立する。

(日本科学技術情報センターの解散等)

第六条 日本科学技術情報センター(以下「センター」といふ)は、事業団の成立の時において解散するものとし、その一切の権利及び義務は、その時において事業団が承継する。

第七条 前条第五項の規定により政府以外の者が事業団に出資したものとされた金額については、当該政府以外の者は、事業団に対し、その成立の日から起算して一月を経過する日までの間に限り、当該持分の払戻しを請求することができる。

第八条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第九条 前条第五項の規定により政府以外の者が事業団に出資したものとされた金額については、当該政府以外の者は、事業団に対し、その成立の日から起算して一月を経過する日までの間に限り、当該持分の払戻しを請求することができる。

第十条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十一条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十二条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十三条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十四条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十五条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十六条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第十七条 事業団は、前項の規定による請求があったときは、第七条第一項の規定にかかるわらず、当該持分に係る出資額に相当する金額により払戻しをしなければならない。この場合において、事業団は、その払戻しをした金額により資本金を減少するものとする。

第六章 基本法

第五十二条 第二十二条(第二十九条において準用する場合を含む)の規定により出資者に存在する質権は、第六条第一項の規定により出資者が受けべき事業団の出資証券の上に存在する。

第五十三条 第二十二条(第二十九条において準用する場合を含む)の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第五十四条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第五十五条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第五十六条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第五十七条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第五十八条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第五十九条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十一条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十二条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十三条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十四条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十五条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十六条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十七条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十八条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第六十九条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十一条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十二条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十三条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十四条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十五条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十六条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十七条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十八条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第七十九条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十一条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十二条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十三条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十四条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十五条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十六条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十七条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十八条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第八十九条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十一条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十二条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十三条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十四条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十五条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十六条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十七条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十八条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第九十九条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第一百条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第一百零一条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第一百零二条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

第一百零三条 前項の規定によりセントラルが解散した場合における解説の登記については、政令で定める。

事業団が附則第六条第一項及び前条第一項の規定により権利を承継し、かつ、引き続き保有する土地のうち、セントー又は新技術事業団が昭和四十四年一月一日前に取得したもの及び地税法(昭和二十五年法律第二百二十六号)第五百九十九条第一項の規定により申告納付すべき日の属する年の一月一日において都市計画法で定する市街化区域内に所在する土地以外の土地で同日においてセントー又は新技術事業団が当該土地を取得した日以後十年を経過したものに對しては、土地に対して課する特別土地保有税を課することができない。

前条第一項の規定により事業団が権利を承継する場合における当該承継に伴う登記又は登録については、登録免許税を課さない。

(名称の使用制限等に関する経過措置)

第十一条 この法律の施行の際現に科学技術振興事業団といふ名称を使用している者については、第九条の規定は、この法律の施行後六月間は、適用しない。

第十二条 事業団の最初の事業年度は、第三十五条の規定にかかわらず、その成立の日に始まり、平成九年三月三十一日で終まるものとする。

第十三条 事業団の最初の事業年度の事業計画、予算及び資金計画については、第三十六条中「当該事業年度の開始前に」とあるのは、「事業団の成立後遅滞なく」とする。

(日本科学技術情報センター法、新技術事業団法の廃止)

第十四条 前条の規定の施行前に同条の規定による廃止前の日本科学技術情報センター法(第十三条を除く)又は新技術事業団法(第十二条及び第二十五条を除く)の規定によりした処分手続その他の行為は、この法律中の相当する規定によりした処分手続その他の行為とみなす。

第十五条 附則第十三条の規定の施行前にした行為に対する罰則の適用については、附則第十三条の規定による。

第十六条 新技術事業団の役員若しくは職員又は新技術審議会の委員であった者に係るその職務に關して知得した秘密を漏らし、又は盜用してはならない義務については、附則第十三条の規定による。

2 前項の規定により從前の例によることとされる事項に係る附則第十三条の規定の施行後にした行為に對する罰則の適用については、なお從前の例による。

(所得税法の一部改正)

第十七条 所得税法(昭和四十年法律第三十三号)の一部を次のようにより改正する。

別表第一第一号の表新技術事業団の項を削除する。

(印紙税法の一部改正)

第十九条 印紙税法(昭和四十二年法律第三十四号)の一部を次のようにより改正する。

別表第一新技術事業団の項を削除する。

(登録免許税法の一部改正)

第二十条 登録免許税法(昭和四十二年法律第三号)の一部を次のようにより改正する。

別表第二新技術事業団の項を削除する。

(消費税法の一部改正)

第二十二条 消費税法(昭和六十三年法律第八号)の一部を次のようにより改正する。

別表第三第一号の表新技術事業団の項を削除する。

(地価税法の一部改正)

第二十三条 地価税法(平成三年法律第六十九号)の一部を次のようにより改正する。

別表第一第二十五号中「日本科学技術情報センター」を「科学技術振興事業団」に改める。

(地方税法の一部改正)

第二十四条 地方税法の一部を次のようにより改正する。

第三十条 国は、國立ハンセン病療養所(前条の規定による廃止前の國立ハンセン病療養所)へ再入所する事項に係る附則第十三条の規定の施行後にした行為に對する罰則の適用については、附則第十三条の規定による。

第三十一条 國立ハンセン病療養所の長は、この法律の施行の際現に國立ハンセン病療養所に入所していた者であつてこの法律の施行後に國立ハンセン病療養所を退所したもの

法第三十条第一項第五号に規定する基礎的研究に係る」に「新技術事業団が所有し、かつ、直接同条第五号」を「科学技術振興事業団が所有し、かつ、直接同条第一項第二号イ」に改める。

第七百一条の四十一第一項の表第二号の二中「日本科学技術情報センター」を「科学技術振興事業団」に改める。

(科学技術庁設置法の一部改正)

第二十四条 科学技術庁設置法(昭和三十一年法律第四十九号)の一部を次のようにより改正する。

第四条第一項第三十号中「日本科学技術情報センタ」及び「新技術事業団」を削り、「及び宇宙開発事業団」を「宇宙開発事業団及び科学技術振興事業団」に改める。

第五条 国は、入所者及び再入所者(以下「入所者等」という)の教養を高め、その福利を増進するよう努めるものとする。

(福利増進)

第六条 国は、入所者等に対し、その社会復帰に資するため必要な知識及び技能を与えるための措置を講ずることができる。

(社会復帰の支援)

第七条 国は、入所者等の親族(婚姻の届出をしていないが、事实上婚姻關係と同様の事情にある者を含む)のうち、当該入所者が入所しなかつたならば、主としてその者の収入によって生計を維持し、又はその者と生計を共にしていると認められる者で、当該都道府県の区域内に居住地(居住地がないか、又は明らかでないときは、現在地)を有するものが、生計困難のため、援護を要する状態にあると認めたときは、これらの者に対し、この法律の定めるところにより、援護を行うことができる。ただし、これらの者が他の法律(生活保護法(昭和二十五年法律第百四十四号)を除く)に定める扶助を受けることができる場合においては、その受け取ることができる扶助の限度においては、その法律の定めるところによる。

第八条 国は、國立ハンセン病療養所へ再入所する者に金銭を給付することによって行なうも援護は、金銭を給付することによって行なうものとする。ただし、これによることができないとき、これによることが適当でないとき、その他の理由により、援護の目的を達するために必要があるときは、現物を給付することによって行なうことができる。

3 援護のための金品は、援護を受ける者又はその者が属する世帯の世帯主若しくはこれに準ずる者に交付するものとする。

4 援護の種類、範囲、程度その他援護に關する事項は、政令で定める。

行前に國立ハンセン病療養所に入所していた者は、この法律の施行の際に國立ハンセン病療養所に入所していないものが、必要な援護を受けけるため、國立ハンセン病療養所への入所を希望したときは、入所させないことについて正当な理由がある場合を除き、國立ハンセン病療養所に入所させるものとする。

国は、前項の規定により入所した者(次条において「再入所者」という)に對して、必要な療養を行なうものとする。

2 前項の規定により入所した者(次条において「再入所者」という)に對して、必要な療養を行なうものとする。

3 第三百四十九条の三第二十六項中「新技術事業団が所有し、かつ、直接新技術事業団法第二十八号第二号に規定する」を「科学技術振興事業団法(平成八年法律第二十七号)第三十条第一項第二号イ」に改める。

第三条 國立ハンセン病療養所の長は、この法律の施行の際現に國立ハンセン病療養所に入所していた者であつてこの法律の施行後に國立ハンセン病療養所を退所したものの法律の施

- (1) Name: Japan Science and Technology Corporation
- (2) Principal Office: 4-1-8, Honmachi, Kawaguchi-shi,
Saitama-ken
- (3) Matters Concerning Officers:
- (4) Chief Director: Moritaka NAKAMURA
- (5) Address: 89-8, Motomura-cho, Asahi-ku, Yokohama-shi,
Kanagawa-ken
- (6) Cause and date of creation of this registration paper:
Establishment
- (7) Registered on October 1, 1996
- (8) Name: Japan Science and Technology Corporation
- (9) Other Matters:
- (10) Capital:
- (11) Capital:
- (12) Changed on December 20, 1996 (Registered on January 8,
1997)
- (13) Capital:
- (14) Changed on December 25, 1996 (Registered on January 17,
1997)
- (15) Capital:
- (16) Changed on January 27, 1997 (Registered on February 6,
1997)
- (17) Capital:
- (18) Changed on January 30, 1997 (Registered on February 17,
1997)
- (19) Capital:



(20) Changed on February 27, 1997 (Registered on March 11, 1997)

(21) Capital:

(22) Changed on March 21, 1997 (Registered on April 7, 1997)

(23) Capital: 230,885,927,100 yen

(24) Changed on March 25, 1997 (Registered on April 7, 1997)

(25) Name: Japan Science and Technology Corporation

(26) Branch Office: 5-3, Yonban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo-to

(27) Established on October 15, 1996 (Registered on October 17, 1996)

(28) Branch Office:

(29) This is a certified copy of the register.

(30) July 3, 1997

(31) The Urawa Legal Affairs Bureau

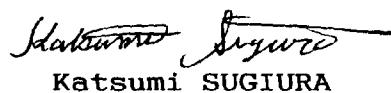
(32) Registrar: Nobumitsu TAKAHASHI



DECLARATION

I, Katsumi Sugiura, a Japanese citizen of 3-166-1, B-102, Mukaiikogane, Nagareyama-shi, Chiba-ken, Japan, declare that I am familiar with the Japanese and English languages, and to the best of my knowledge and belief, the attached is a true and faithful English translation made by me of the substantial portions of the accompanying certified copy of the closed register of Research Development Corporation of Japan (*Shin-gijutsu Jigyodan*).

Singed this 19th day of December, 1997



Katsumi SUGIURA

- (1) Name: Research Development Corporation of Japan
- (2) Principal Office: 4-1-8, Honmachi, Kawaguchi-shi,
Saitama-ken
- (3) Matters Concerning Officers:
- (4) Address: 2-12-23, Honmachi, Tanashi-shi, Tokyo-to
- (5) Chief Director: Nobuhisa AKABANE
- (6) Re-appointed on August 13, 1990
- (7) Resigned on April 15, 1994 (Registered on April 26,
1994)
- (8) Address: 1-755-2-516, Ogawa-cho, Kodaira-shi, Tokyo-to
- (9) Managing Director: Masahiro KAWASAKI
- (10) Inaugurated on July 16, 1991
- (11) Address: 5-387, Heiwadai, Nagareyama-shi, Chiba-ken
- (12) Chief Director: Hiromichi MATSUDAIRA
- (13) Inaugurated on April 16, 1994 (Registered on April 26,
1994)
- (14) Date of establishment of corporation: July 1, 1961
- (15) Cause and date of creation of this registration paper:
The principal office moved from 2-5-2, Nagata-cho, Chiyoda-ku,
Tokyo-to on March 12, 1994
- (16) Registered on March 24, 1994
- (17) Name: Research Development Corporation of Japan
- (18) Other Matters:
- (19) Capital:
- (20) Capital:
- (21) Changed on March 31, 1994 (Registered on April 14,

1994)

(22) Capital:

(23) Changed on July 28, 1994 (Registered on July 28, 1994)

(24) Capital:

(25) Changed on August 31, 1994 (Registered on August 31, 1994)

(26) Capital:

(27) Changed on October 5, 1994 (Registered on October 18, 1994)

(28) Capital:

(29) Changed on November 4, 1994 (Registered on November 16, 1994)

(30) Capital:

(31) Changed on December 5, 1994 (Registered on December 15, 1994)

(32) Capital:

(33) Changed on December 26, 1994 (Registered on January 6, 1995)

(34) Capital:

(35) Changed on January 30, 1995 (Registered on February 1, 1995)

(36) Capital:

(37) Changed on February 28, 1995 (Registered on March 10, 1995)

(38) Capital:

(39) Changed on April 5, 1995 (Registered on April 11, 1995)

(40) Capital:

(41) Changed on July 7, 1995 (Registered on July 18, 1995)

(42) Capital:

(43) Changed on August 4, 1995 (Registered on August 14, 1995)

(44) Capital:

(45) Changed on August 25, 1995 (Registered on September 8, 1995)

(46) Capital:

(47) Changed on October 16, 1995 (Registered on October 25, 1995)

(48) Capital:

(49) Changed on November 6, 1995 (Registered on November 8, 1995)

(50) Capital:

(51) Changed on December 5, 1995 (Registered on December 6, 1995)

(52) Capital:

(53) Changed on December 26, 1995 (Registered on January 5, 1996)

(54) Capital:

(55) Changed on February 1, 1996 (Registered on February 7, 1996)

(56) Capital:

(57) Changed on March 3, 1996 (Registered on March 6, 1996)

(58) Capital:

(59) Changed on March 27, 1996 (Registered on March 28, 1996)

(60) Capital:

(61) Changed on July 11, 1996 (Registered on July 25, 1996)

(62) Capital:

(63) Changed on September 10, 1996 (Registered on September 12, 1996)

(64) Research Development Corporation of Japan was dissolved on October 1, 1996 in accordance with Rule 8-1 of the Japan Science and Technology Corporation Law (Act No. 27 of 1996).

(65) Registered on October 23, 1996 (Closed on the same day)

(66) This is a certified copy of the closed register.

(67) July 3, 1997

(68) The Urawa Legal Affairs Bureau

(69) Registrar: Nobumitsu TAKAHASHI

No.3

(1)

名称

科学技術振興事業団



平成 年 月 日変更
平成 年 月 日登記
平成 年 月 日変更
平成 年 月 日登記

主たる事務所

(2)

埼玉県川口市本町四丁目1番8号



(3)

役員に関する事項

年 月 日 年 月 日

原 因 原 因

登 記 年 月 日 登 記 年 月 日

(5) 神奈川県横浜市旭区
本村町89番地の9

平成 年 月 日 平成 年 月 日

(4) 理事長 中村 守

平成 年 月 日登記 平成 年 月 日登記

平成 年 月 日 平成 年 月 日

平成 年 月 日登記 平成 年 月 日登記

平成 年 月 日 平成 年 月 日



名称・役員欄 / 丁

役員に関する事項	年 月 日	年 月 日
	原 因	原 因
	登 記 年 月 日	登 記 年 月 日
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
	平成 年 月 日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日 登記	平成 年 月 日 登記
法人成立の年月日	年 月 日	
登記用紙を起こした事由及び年月日	(6)	
設立	(7)	
	平成 8 年 10 月 1 日 登記	

印登法二四〇



平成 8 年 10 月 1 日 登記

法人成立の年月日

年 月 日

登記用紙を起こした事由及び年月日

設立

25(6)

(7)

商号 名称 科学技術振興事業団

(8)

(9) その他 の事項

(10) 資本金 金 200,162,127,100 円

(11) 資本金 金 201,262,127,100 円

(12) 平成 8 年 12 月 20 日 変更 平成 9 年 1 月 8 日 登記

(13) 資本金 金 211,622,127,100 円

(14) 平成 8 年 12 月 25 日 登記 平成 9 年 1 月 17 日 登記

(15) 資本金 金 211,678,427,100 円

(16) 平成 9 年 1 月 27 日 変更 平成 9 年 2 月 6 日 登記

(17) 資本金 金 216,868,427,100 円

(18) 平成 9 年 1 月 30 日 変更 平成 9 年 2 月 17 日 登記

(19) 資本金 金 222,118,427,100 円

(20) 平成 9 年 2 月 27 日 変更 平成 9 年 3 月 11 日 登記

(21) 資本金 金 223,818,927,100 円

(22) 平成 9 年 3 月 21 日 変更 平成 9 年 4 月 7 日 登記

(23) 資本金 金 230,885,927,100 円

(24) 平成 9 年 3 月 25 日 変更 平成 9 年 4 月 7 日 登記

目的欄
予備欄



PATENT

REEL: 011987 FRAME: 0586

商号名称 科学技術振興事業團

(25)



支店欄 / 丁

登記官印



Registration No. 732 of 1997

NOTARIAL CERTIFICATE

This is to certify that Mr. Katsumi Sugiura

has affixed his signatures in my very presence to the attached documents.

Dated this 19th day of December, 1997

Tadao Kasuya



Tadao Kasuya

Notary, attached to
The Tokyo Legal Affairs Bureau.
No. 1-10, Nihombashi, Kabuto-cho,
Chuo-ku, Tokyo, Japan.



枚数 	名 称	(1) 新技術事業団			
		平成 年 月 日変更	平成 年 月 日登記	平成 年 月 日変更	平成 年 月 日登記
主たる事務所	(2) 埼玉県川口市本町四丁目1番8号				
		平成 年 月 日	平成 年 月 日登記	平成 年 月 日	平成 年 月 日登記
(3) 役員に関する事項	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	
	原 因	原 因	登 記 年 月 日	登 記 年 月 日	
(4) 東京都田無市本町四丁目12番13号(6)	平成 入年 8月13日	重 任 (7)	平成 6年 4月15日	辞 任	
(5) 理事長 赤羽信久	平成 年 月 日登記		平成 6年 4月26日登記		
(6) 東京都小平市小川町10丁目755番-2-516号	平成 3年 7月16日	就 任	平成 年 月 日		
(7) 専務理事 川崎雅弘	平成 年 月 日登記		平成 年 月 日登記		
(8) 千葉県流山市平和台五丁目387番地(13)	平成 6年 4月16日	就 任	平成 年 月 日		
(9) 理事長 松平寛通	平成 6年 4月26日登記		平成 年 月 日登記		
申請人印 					
名称・役員欄 / 丁					

(12)

役員に関する事項	年	月	日	年	月	日			
	原			原					
	登記	年	月	日	登記	年	月	日	
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
	平成	年	月	日	平成	年	月	日	
	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
(14)	平成	年	月	日	登記	平成	年	月	日
法人成立の年月日	昭和 36 年 7 月 1 日								
登記用紙を起した事由及び年月日	平成 6 年 3 月 12 日 東京都千代田区永田町六丁目 5 番入手 主たる事務所移転								
(15)	平成 6 年 3 月 24 日 登記 金								

(16)

(17) 号	名称	新技術事業団
(18) 他の事項		
(19) (資本金)	金 86,013,637,000円	
(20) (資本金)	金 88,154,637,000円	
(21) 平成6年3月31日変更	平成6年4月14日登記	
(22) (資本金)	金 90,054,637,000円	
(23) 平成6年7月28日変更	平成6年7月28日登記	
(24) (資本金)	金 91,054,637,000円	
(25) 平成6年8月31日変更	平成6年8月31日登記	
(26) (資本金)	金 92,054,637,000円	
(27) 平成6年10月5日 変更	平成6年10月18日登記	
(28) (資本金)	金 93,054,637,000円	
(29) 平成6年11月4日 変更	平成6年11月16日登記	
(30) (資本金)	金 94,054,637,000円	
(31) 平成6年12月5日 変更	平成6年12月15日登記	
(32) (資本金)	金 95,554,637,000円	
(33) 平成6年12月26日変更	平成7年1月6日 登記	
(34) (資本金)	金 96,554,637,000円	
(35) 平成7年1月30日変更	平成7年2月1日 登記	
(36) (資本金)	金 97,754,637,000円	
(37) 平成7年2月28日変更	平成7年3月10日登記	
(38) (資本金)	金 99,544,637,000円	
(39) 平成7年4月5日 変更	平成7年4月11日登記	
(40) (資本金)	金 101,444,637,000円	
(41) 平成7年7月 7日 変更	平成7年7月18日登記	



目的欄
予備欄

/ 丁



- (42) (資本金) 金 102,444,637,000 円
- (43) 平成 7 年 8 月 4 日 変更 平成 7 年 8 月 14 日 登記 (同日開鎖)
- (44) (資本金) 金 103,444,637,000 円
- (45) 平成 7 年 8 月 25 日 変更 平成 7 年 9 月 3 日 登記 (同日開鎖)
- (46) (資本金) 金 104,744,637,000 円
- (47) 平成 7 年 10 月 16 日 変更 平成 7 年 10 月 25 日 登記 (同日開鎖)
- (48) (資本金) 金 105,944,637,000 円
- (49) 平成 7 年 11 月 6 日 変更 平成 7 年 11 月 8 日 登記 (同日開鎖)
- (50) (資本金) 金 107,544,637,000 円
- (51) 平成 7 年 12 月 5 日 変更 平成 7 年 12 月 6 日 登記 (同日開鎖)
- (52) (資本金) 金 109,944,637,000 円
- (53) 平成 7 年 12 月 26 日 変更 平成 8 年 1 月 5 日 登記 (同日開鎖)
- (54) (資本金) 金 113,244,637,000 円
- (55) 平成 8 年 2 月 1 日 変更 平成 8 年 2 月 7 日 登記 (同日開鎖)
- (56) (資本金) 金 118,884,637,000 円
- (57) 平成 7 年 3 月 6 日 変更 平成 8 年 3 月 6 日 登記 (同日開鎖)
- (58) (資本金) 金 123,971,637,000 円
- (59) 平成 6 年 3 月 27 日 変更 平成 8 年 3 月 28 日 登記 (同日開鎖)
- (60) (資本金) 金 125,539,637,000 円
- (61) 平成 8 年 7 月 11 日 変更 平成 8 年 7 月 25 日 登記 (同日開鎖)
- (62) (資本金) 金 128,739,637,000 円
- (63) 平成 8 年 9 月 10 日 変更 平成 8 年 9 月 12 日 登記 (同日開鎖)
- 4) 平成 8 年 10 月 1 日 科学技術振興事業団法(平成 8 年法律第 27 号)
 附則第 8 条第 1 項の規定により解散
- 65) (平成 8 年 10 月 23 日 登記 同日閉鎖)

印登商九〇

(66) これは閉鎖登記簿の謄本である。

(67) 平成9年 7月 3日

(68) 浦和地方法務局

(69) 登記官 高橋伸允

- (1) Name: Research Development Corporation of Japan
(2) Changed on October 1, 1989
(3) Registered on October 6, 1989
(4) Principal Office:
(5) Matters Concerning Officers:
(6) Inaugurated on August 13, 1986 (Registered on September 2, 1986)
(7) Retired on June 30, 1989 (Registered on July 13, 1989)
(8) Inaugurated on July 1, 1989 (Registered on July 13, 1989)
(9) Resigned on July 15, 1991 (Registered on July 22, 1991)
(10) September 2, 1986
(11) Inaugurated on July 16, 1991 (Registered on July 22, 1991)
(12) Chief Director: Nobuhisa AKABANE
(13) Address: 2-12-23, Honmachi, Tanashi-shi, Tokyo-to
(14) Re-appointed on August 13, 1990 (Registered on March 15, 1993)
(15) Managing Director: Masahiro KAWASAKI
(16) Address: 1-755-2-516, Ogawa-cho, Kodaira-shi, Tokyo-to
(17) Address changed on February 26, 1992 (Registered on March 15, 1993)
(18) Date of establishment of corporation: July 1, 1961
(19) Name: Research Development Corporation of Japan
(20) Other Matters:
(21) Capital:

(22) Changed on February 17, 1987 (Registered on February 17, 1987)

(23) Capital:

(24) Changed on March 27, 1987 (Registered on April 3, 1987)

(25) Capital:

(26) Changed on July 10, 1987 (Registered on July 21, 1987)

(27) Capital:

(28) Changed on August 7, 1987 (Registered on August 11, 1987)

(29) Capital:

(30) Changed on September 11, 1987 (Registered on September 21, 1987)

(31) Capital:

(32) Changed on October 9, 1987 (Registered on October 13, 1987)

(33) Capital:

(34) Changed on November 6, 1987 (Registered on November 11, 1987)

(35) Capital:

(36) Changed on December 11, 1987 (Registered on December 21, 1987)

(37) Capital:

(38) Changed on January 8, 1988 (Registered on February 4, 1988)

(39) Capital:

(40) Changed on February 5, 1988 (Registered on February 10, 1988)

- (41) Capital:
- (42) Changed on March 28, 1988 (Registered on March 30, 1988)
- (43) February 17, 1987
- (44) Capital:
- (45) Changed on June 24, 1988 (Registered on July 7, 1988)
- (46) Capital:
- (47) Changed on July 22, 1988 (Registered on July 26, 1988)
- (48) Capital:
- (49) Changed on August 22, 1988 (Registered on August 24, 1988)
- (50) Capital:
- (51) Changed on September 26, 1988 (Registered on September 28, 1988)
- (52) Capital:
- (53) Changed on October 24, 1988 (Registered on October 27, 1988)
- (54) Capital:
- (55) Changed on November 24, 1988 (Registered on November 30, 1988)
- (56) Capital:
- (57) Changed on December 21, 1988 (Registered on December 23, 1988)
- (58) Capital:
- (59) Changed on January 25, 1989 (Registered on January 27, 1989)
- (60) Capital:

(61) Changed on February 21, 1989 (Registered on March 2, 1989)

(62) Capital:

(63) Changed on March 24, 1989 (Registered on March 29, 1989)

(64) Capital:

(65) Changed on June 22, 1989 (Registered on July 4, 1989)

(66) Capital:

(67) Changed on July 25, 1989 (Registered on July 27, 1989)

(68) Capital:

(69) Changed on September 4, 1989 (Registered on September 5, 1989)

(70) Name: Research Development Corporation of Japan

(71) Other Matters:

(72) Capital:

(73) Changed on September 26, 1989 (Registered on October 3, 1989)

(74) Capital:

(75) Changed on October 31, 1989 (Registered on November 2, 1989)

(76) Capital:

(77) Changed on December 12, 1989 (Registered on December 18, 1989)

(78) Capital:

(79) Changed on December 26, 1989 (Registered on January 9, 1990)

(80) Capital:

(81) Changed on February 7, 1990 (Registered on February 16,
1990)

(82) Capital:

(83) Changed on March 2, 1990 (Registered on March 8, 1990)

(84) Capital:

(85) Changed on March 31, 1990 (Registered on April 12,
1990)

(86) Capital:

(87) Changed on June 27, 1990 (Registered on June 27, 1990)

(88) Capital:

(89) Changed on August 1, 1990 (Registered on August 2,
1990)

(90) Capital:

(91) Changed on August 29, 1990 (Registered on September 4,
1990)

(92) Capital:

(93) Changed on September 27, 1990 (Registered on October 3,
1990)

(94) Capital:

(95) Changed on November 5, 1990 (Registered on November 8,
1990)

(96) Capital:

(97) Changed on November 30, 1990 (Registered on December 12,
1990)

(98) Capital:

(99) Changed on December 25, 1990 (Registered on January 7,
1991)

(100) Capital:

(101) Changed on January 31, 1991 (Registered on February 1, 1991)

(102) Capital:

(103) Changed on March 4, 1991 (Registered on March 7, 1991)

(104) Capital:

(105) Changed on April 2, 1991 (Registered on April 4, 1991)

(106) Capital:

(107) Changed on July 3, 1991 (Registered on July 10, 1991)

(108) Capital:

(109) Changed on August 2, 1991 (Registered on August 6,

1991)

(110) Capital:

(111) Changed on September 5, 1991 (Registered on September 5, 1991)

(112) Capital:

(113) Changed on September 27, 1991 (Registered on October 4, 1991)

(114) Capital:

(115) Changed on October 31, 1991 (Registered on November 13, 1991)

(116) Capital:

(117) Changed on November 29, 1991 (Registered on December 10, 1991)

(118) Capital:

(119) Changed on January 7, 1992 (Registered on January 13, 1992)

(120) Name: Research Development Corporation of Japan

(121) Other Matters:

(122) Capital:

(123) Changed on January 30, 1992 (Registered on February 5,
1992)

(124) Capital:

(125) Changed on February 27, 1992 (Registered on March 2,
1992)

(126) Capital:

(127) Changed on March 27, 1992 (Registered on April 3,
1992)

(128) Capital:

(129) Changed on June 29, 1992 (Registered on July 6, 1992)

(130) Capital:

(131) Changed on August 3, 1992 (Registered on August 3,
1992)

(132) Capital:

(133) Changed on August 31, 1992 (Registered on September 1,
1992)

(134) Capital:

(135) Changed on October 1, 1992 (Registered on October 2,
1992)

(136) Capital:

(137) Changed on November 6, 1992 (Registered on November 9,
1992)

(138) Capital:

(139) Changed on December 3, 1992 (Registered on December 3,

1992)

(140) Capital:

(141) Changed on January 6, 1993 (Registered on January 7,
1993)

(142) Capital:

(143) Changed on January 28, 1993 (Registered on January 29,
1993)

(144) Capital:

(145) Changed on February 24, 1993 (Registered on March 3,
1993)

(146) Capital:

(147) Changed on March 26, 1993 (Registered on March 29,
1993)

(148) Capital:

(149) Changed on June 25, 1993 (Registered on June 28, 1993)

(150) Capital:

(151) Changed on July 28, 1993 (Registered on July 29, 1993)

(152) Capital:

(153) Changed on August 30, 1993 (Registered on September 6,
1993)

(154) Capital:

(155) Changed on September 29, 1993 (Registered on October 1,
1993)

(156) Capital:

(157) Changed on October 27, 1993 (Registered on November 2,
1993)

(158) Capital:

(159) Changed on November 24, 1993 (Registered on December 9, 1993)

(160) Capital:

(161) Changed on December 28, 1993 (Registered on January 5, 1994)

(162) Capital:

(163) Changed on January 28, 1994 (Registered on February 2, 1994)

(164) Capital: 86,013,637,000 yen

(165) Changed on February 25, 1994 (Registered on March 4, 1994)

(166) Principal Office:

4-1-8, Honmachi, Kawaguchi-shi, Saitama-ken

Moved on March 12, 1994

Registered on March 25, 1994

Closed on the same day

(167) This is a certified copy of the closed register.

(168) July 3, 1997

(169) The Tokyo Legal Affairs Bureau

(170) Registrar: Katsuhiro IWASA

(1)

枚数	名称 <u>新技術開発事業団</u>		
	(2) <u>新技術事業団</u>	(平成元年 10月 1日変更)	
	(3)	(昭和元年 10月 6日登記)	
4) (在たる事務所) 3 東京都千代田区永田町2丁目5番2号			
		昭和 年 月 日	
		昭和 年 月 日登記	
		昭和 年 月 日	
		昭和 年 月 日登記	
		昭和 年 月 日	
		昭和 年 月 日登記	
(5) 役員に関する事項		年 月 日	年 月 日
		原 因	原 因
		登 記 年 月 日	登 記 年 月 日
<u>東京都田無市本町2丁目7番23号</u>		昭和 年 月 日	昭和 年 月 日
		昭和 年 月 日登記	昭和 年 月 日登記
<u>理事長 赤羽 信久</u>		昭和 61年 8月 13日 (7)	平成元年 6月 30日 (7)
<u>東京都目黒区青葉台6丁目5番17号</u>		以上 2名就任	退 任
<u>副社長 松川 安</u>		昭和 61年 9月 2日 (8)	平成元年 7月 13日 (8)
<u>東京都千代田区四番町8丁目3番302号</u>		平成元年 7月 1日 (9)	平成元年 7月 15日 (9)
<u>理事 後藤 優</u>		就 任	辞 任
		平成元年 7月 13日 (10)	平成元年 7月 22日 (10)
名称・役員欄 5丁3丁4丁 (昭和 61.9.2) 日法規4条3項移記			



名称・役員欄

5丁3丁4丁

(昭和 61.9.2)

日法規4条3項移記

(10)

PATENT

REEL: 011987 FRAME: 0604

役員に関する事項	年	月	日	年	月	日				
	原		因	原		因				
	登	記	年	月	日	登	記	年	月	日
(11) 東京都中野区上高田5番2号	昭和3年7月16日			昭和年月日						
専務理事 川崎雅弘	昭和3年7月22日	登記	本	昭和年月日	登記					
(13) 東京都田無市本町2丁目2番23号	昭和2年8月13日			昭和年月日						
(4) 理事長 赤羽信久	昭和5年3月15日	登記	本	昭和年月日	登記					
(16) 東京都小平市小川町1丁目755番-2-516号	昭和4年2月26日			昭和年月日						
(17) 専務理事 川崎雅弘	昭和5年3月15日	登記	本	昭和年月日	登記					
	昭和年月日			昭和年月日						
	昭和年月日			昭和年月日						
	昭和年月日			昭和年月日						
	昭和年月日			昭和年月日						
(18)	昭和年月日			昭和年月日						
法人成立の年月日	昭和36年7月1日									
登記用紙を起こした事由及び年月日										
昭和年月日登記										

商号(名称)	新技術開発事業団
(19)	新技術事業団

(20) その他の事項

(21)(資本金) 金 34,421,637,000円

資本金 金 35,021,637,000円

(22)(昭和62年2月17日変更 昭和62年2月17日登記)

(23)(資本金) 金 35,391,637,000円

(24)(昭和62年3月27日変更 昭和62年4月3日登記)

(25)(資本金) 金 36,641,637,000円

(26)(昭和62年7月10日変更 昭和62年7月21日登記)

(27)(資本金) 金 36,441,637,000円

(28)(昭和62年8月7日変更 昭和62年8月11日登記)

(29)(資本金) 金 36,791,637,000円

(30)(昭和62年9月11日変更 昭和62年9月21日登記)

(31)(資本金) 金 37,091,637,000円

(32)(昭和62年10月9日変更 昭和62年10月13日登記)

(33)(資本金) 金 37,741,637,000円

(34)(昭和62年11月6日変更 昭和62年11月11日登記)

(35)(資本金) 金 38,291,637,000円

(36)(昭和62年12月11日変更 昭和62年12月21日登記)

(37)(資本金) 金 38,891,637,000円

(38)(昭和63年1月8日変更 昭和63年2月4日登記)

(39)(資本金) 金 39,491,637,000円

(40)(昭和63年2月5日変更 昭和63年2月10日登記)

(41)(資本金) 金 39,763,637,000円

(42)(昭和63年3月28日変更 昭和63年3月30日登記)

印の欄

4丁

登記官印

人3丁

昭和62年2月17日法規4条2項移

(43)

- (44) (資本金) 金 ~~42,163,637,000円~~
- (45) (昭和 63年 6月 24日変更 昭和 63年 7月 7日登記) 東
- (46) (資本金) 金 ~~42,573,637,000円~~
- (47) (昭和 63年 7月 22日変更 昭和 63年 7月 26日登記) 東
- (48) (資本金) 金 ~~41,113,637,000円~~
- (49) (昭和 63年 8月 22日変更 昭和 63年 8月 24日登記) 東
- (50) (資本金) 金 ~~41,763,637,000円~~
- (51) (昭和 63年 9月 26日変更 昭和 63年 9月 28日登記) 東
- (52) (資本金) 金 ~~42,263,637,000円~~
- (53) (昭和 63年 10月 24日変更 昭和 63年 10月 27日登記) 東
- (54) (資本金) 金 ~~42,963,637,000円~~
- (55) (昭和 63年 11月 24日変更 昭和 63年 11月 25日登記) 東
- (56) (資本金) 金 ~~43,563,637,000円~~
- (57) (昭和 63年 12月 21日変更 昭和 63年 12月 23日登記) 東
- (58) (資本金) 金 ~~43,963,637,000円~~
- (59) (平成 元年 1月 25日変更 平成 元年 1月 27日登記) 東
- (60) (資本金) 金 ~~44,263,637,000円~~
- (61) (平成 元年 2月 21日変更 平成 元年 3月 2日登記) 東
- (62) (資本金) 金 ~~44,482,637,000円~~
- (63) (平成 元年 3月 24日変更 平成 元年 3月 29日登記) 東
- (64) (資本金) 金 ~~44,882,637,000円~~
- (65) (平成 元年 6月 22日変更 平成 元年 7月 4日登記) 東
- (66) (資本金) 金 ~~45,382,637,000円~~
- (67) (平成 元年 7月 25日変更 平成 元年 7月 27日登記) 東
- (68) (資本金) 金 ~~46,082,637,000円~~
- (69) (平成 元年 9月 4日変更 平成 元年 9月 5日登記) 東

商号(名称) 新技術開発事業団

(70) 新技術事業団

(71) その他の事項

(72) (資本金) 金 46,782,637,000 円

(73) (平成元年 9月 26日変更 平成元年 10月 3日登記) 松本

(74) (資本金) 金 47,382,637,000 円

(75) (平成元年 10月 31日変更 平成元年 11月 2日登記) 松本

(76) (資本金) 金 48,082,637,000 円

(77) (平成元年 12月 12日変更 平成元年 12月 18日登記) 松本

(78) (資本金) 金 48,782,637,000 円

(79) (平成元年 12月 26日変更 平成 2年 1月 9日登記) 松本

(80) (資本金) 金 49,682,637,000 円

(81) (平成 2年 2月 7日変更 平成 2年 2月 16日登記) 松本

(82) (資本金) 金 50,182,637,000 円

(83) (平成 2年 3月 2日変更 平成 2年 3月 8日登記) 松本

(84) (資本金) 金 50,444,637,000 円

(85) (平成 2年 3月 31日変更 平成 2年 4月 12日登記) 松本

(86) (資本金) 金 51,744,637,000 円

(87) (平成 2年 6月 27日変更 平成 2年 6月 27日登記) 松本

(88) (資本金) 金 52,744,637,000 円

(89) (平成 2年 8月 1日変更 平成 2年 8月 2日登記) 松本

(90) (資本金) 金 53,444,637,000 円

(91) (平成 2年 8月 29日変更 平成 2年 9月 4日登記) 松本

(92) (資本金) 金 54,444,637,000 円

(93) (平成 2年 9月 27日変更 平成 2年 10月 3日登記) 松本

目的欄

5丁

登記官印

予備欄

- (94) 資本金) 金 54,944,637,000円
- (95) 平成 2 年 11 月 5 日変更 平成 2 年 11 月 8 日登記
- (96) 資本金) 金 54,944,637,000円
- (97) 平成 2 年 11 月 30 日変更 平成 2 年 12 月 12 日登記
- (98) 資本金) 金 56,244,637,000円
- (99) 平成 2 年 12 月 25 日変更 平成 3 年 1 月 7 日登記
- (100) 資本金) 金 57,044,637,000円
- (101) 平成 3 年 1 月 31 日変更 平成 3 年 2 月 1 日登記
- (102) 資本金) 金 57,644,637,000円
- (103) 平成 3 年 3 月 4 日変更 平成 3 年 3 月 7 日登記
- (104) 資本金) 金 57,719,637,000円
- (105) 平成 3 年 4 月 2 日変更 平成 3 年 4 月 4 日登記
- (106) 資本金) 金 59,219,637,000円
- (107) 平成 3 年 7 月 3 日変更 平成 3 年 7 月 10 日登記
- (108) 資本金) 金 60,019,637,000円
- (109) 平成 3 年 8 月 2 日変更 平成 3 年 8 月 6 日登記
- (110) 資本金) 金 60,719,637,000円
- (111) 平成 3 年 9 月 5 日変更 平成 3 年 9 月 5 日登記
- (112) 資本金) 金 61,619,637,000円
- (113) 平成 3 年 9 月 27 日変更 平成 3 年 10 月 4 日登記
- (114) 資本金) 金 62,519,637,000円
- (115) 平成 3 年 10 月 3 日変更 平成 3 年 11 月 13 日登記
- (116) 資本金) 金 62,919,637,000円
- (117) 平成 3 年 11 月 29 日変更 平成 3 年 12 月 10 日登記
- (118) 資本金) 金 63,719,637,000円
- (119) 平成 4 年 1 月 7 日変更 平成 4 年 1 月 13 日登記

印登商九〇

(請人)

商号名称 新技術事業団
(120)

(121) その他の事項

(122) (資本金) 金 64,819,637,000円

(123) 平成 千年 1月 30 日変更 平成 千年 2月 5 日登記 (西田)

(124) (資本金) 金 65,919,637,000円

(125) 平成 千年 2月 27 日変更 平成 千年 3月 2 日登記 (西田)

(126) (資本金) 金 66,039,637,000円

(127) 平成 千年 3月 27 日変更 平成 千年 4月 3 日登記 (西田)

(128) (資本金) 金 67,139,637,000円

(129) 平成 千年 6月 29 日変更 平成 千年 7月 6 日登記 (西田)

(130) (資本金) 金 68,239,637,000円

(131) 平成 千年 8月 3 日変更 平成 千年 8月 3 日登記 (西田)

(132) (資本金) 金 69,339,637,000円

(133) 平成 千年 8月 31 日変更 平成 千年 9月 1 日登記 (西田)

(134) (資本金) 金 69,439,637,000円

(135) 平成 千年 10月 1 日変更 平成 千年 10月 2 日登記 (西田)

(136) (資本金) 金 70,539,637,000円

(137) 平成 千年 11月 6 日変更 平成 千年 11月 9 日登記 (西田)

(138) (資本金) 金 71,639,637,000円

(139) 平成 千年 12月 3 日変更 平成 千年 12月 3 日登記 (西田)

(140) (資本金) 金 72,539,637,000円

(141) 平成 5年 1月 6 日変更 平成 5年 1月 7 日登記 (西田)

(142) (資本金) 金 73,439,637,000円

(143) 平成 5年 1月 28 日変更 平成 5年 1月 29 日登記 (西田)

請求印

目的欄
予備欄

6丁

登記官印

- (14)(資本金)金 74,239,637,000円
- (15)平成 5年 2月 24日変更 平成 5年 3月 3日登記
- (16)(資本金)金 75,613,637,000円
- (17)(平成 5年 3月 26日変更 平成 5年 3月 29日登記)
- (18)(資本金)金 79,313,637,000円
- (19)平成 5年 6月 25日変更 平成 5年 6月 28日登記
- (20)(資本金)金 78,313,637,000円
- (21)(平成 5年 7月 28日変更 平成 5年 7月 31日登記)
- (22)(資本金)金 79,313,637,000円
- (23)平成 5年 8月 30日変更 平成 5年 9月 6日登記
- (24)(資本金)金 80,513,637,000円
- (25)平成 5年 9月 29日変更 平成 5年 10月 1日登記
- (26)(資本金)金 81,413,637,000円
- (27)(平成 5年 10月 27日変更 平成 5年 11月 2日登記)
- (28)(資本金)金 82,513,637,000円
- (29)(平成 5年 11月 24日変更 平成 5年 12月 9日登記)
- (30)(資本金)金 83,713,637,000円
- (31)(平成 5年 12月 28日変更 平成 6年 1月 5日登記)
- (32)(資本金)金 85,513,637,000円
- (33)(平成 6年 1月 28日変更 平成 6年 2月 2日登記)
- (34)(資本金)金 86,013,637,000円
- (35)(平成 6年 2月 25日変更 平成 6年 3月 4日登記)
- (166)主たる事務所 埼玉県川口市本町四丁目1番8号
平成 6年 3月 12日移転
平成 6年 3月 25日登記 同日閉鎖

印登商九〇

(167) これは閉鎖登記簿の謄本である。

(168) 平成9年7月3日

(169) 東京法務局

(170) 登記官 岩佐 勝博

